



会報



羽黒山の山伏

THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA
鶴岡ロータリークラブ

第717回例会 1973. 8. 21 (火) 晴 No.8

例会日 火曜日 12時30分
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所
会長 安藤定助 幹事 小松広穂

a Time for Action

「今こそ行動のとき」

会報はご家族みんなで読みましょう

○出席報告

本日の出席		
会 員 数	66名	
出 席 数	47名	
出 席 率	71.21%	
前回の出席		
前 回 出 席 率	83.33%	
修 正 出 席 数	61名	
確 定 出 席 率	92.42%	

欠 席 者

阿宗君、長谷川君、早坂(徳)君、板垣君
五十嵐(一)君、今野君、海東君、黒谷君
嶺岸君、新穂君、三浦君、男網君、齋藤
(栄)君、齋藤(信)君、佐藤(伊)君、佐々木
君、富樫君、上野君、高橋(辰)君

メークアップ

飯白君、高橋(良)君、上林君、吉野君、
富樫君—鶴岡西RC
早坂(源)君—公式訪問

○ビジター

山本末治君—京都西RC
夏目重彦君—奥三河RC
長野正彦君、菅原松雄君、羽根田正吉君
—鶴岡西RC

○点 鐘

安藤会長

○ロータリーソング「手に手つないで」

○会長報告

安藤会長

1. 先週の例会はお盆のためにこの奉仕員が手不足でしたが、さすがはロータリアン、早速各自が奉仕サービスに出動し大変な活動で手不足も何等支障なく、例会食事を終えることが出来まして、正に「今こそ行動のとき」に相応しい、しかもロータリアンの集いらしい、思いやり溢る例会風景を展開されましたことを嬉しく存じております。
2. 毎日依然として日中30度を超す暑さの連続ですが、立秋も過ぎ昨今は朝夕めっきり涼しくなってきました。猛暑と斗って参った心も身体もほっと緊張の緩む時期です。会員皆様は勿論、ご家族、並びに職場の方々の衛生、安全管理に留意し、職業奉仕に支障ない様お互い心掛けたいものと存じます。
3. 三浦梯三君が3—4日前大変な火傷(ヤケド)をされ、張医院に入院中とのことです。容態について張君より概況お願いしたいと存じます。

○幹事報告

小松 幹事

1. 会報到着

恵庭RC

○地区大会について

地区大会広報委員長

小野寺 清君

地区大会も愈々迫って参りました。早坂ガバナー、金井委員長、小花副委員長、小池地区幹事、石黒大会幹事、三井副幹事、高橋副幹事の各位をはじめ、大会委員の皆様には諸準備の為並々ならぬご苦勞をおかけしており感謝しております次第です。

私は記録、広報を担当していますが11人の委員は密接な連絡と研究を重ねてゆかねばなりません。皆さんのご指導、ご助援を頂き、何とか重責を果たしたく存じておりますので宜しくお願い申し上げます。

本大会の事務局としては当然参列の来賓や会員一同にプログラムなど、いろいろ書類等配布されるわけですが、この際地元の新聞、荘内日報社の立ち場として社長に代って私から皆様に予めご了承、ご協賛願いたいことがございます。

それは今から13年前の1959年、昭和34年10月24日、当鶴岡ロータリークラブ認証式を迎えるとき、現在の当クラブ会長安藤さん、その他2、3人の方が本社にお見えになり、地元の新新聞として協力するようのご要請がありました。私ももととしては当然の責務としてお引き受けしましたことを今もって記憶に新たなものがあります。

これが（実物の新聞を示す）その折りの記念特集号で皆さんから大へんご好評を頂きました。実はこの実物はこのほど安藤会長さんからおかりしたものです。安藤さんのコレクションといいますが、整備保管の良さに感嘆した次第です。

そこで、こんどの年次大会においては地元新聞として質、量ともに本大会の面目を恥かしめないような記念特集号を発刊したいものと関係各位のアドバイスを頂き乍らいろいろ構想を練っております。

大体の編集方針としては常時4頁建の荘内日報を、10月6日付は6頁または8頁に増頁します。内容は他の地区大会で地元新

聞が発行した特集も参考にいたしますが、奉仕と友情を深めるロータリー精神が紙面に漲るように、そして新鮮で明るいユニークな紙面づくりをいたしたいと思います。

勿論この度は光栄にも三笠宮、同妃両殿下のおなりもありますので、この点紙面に光彩を放つと思います。

その他慣例によってロータリー創始者ポール・P・ハリス、RI会長代理ジャック・プライド、第353地区早坂ガバナー、73—74年次大会の金井委員長、安藤ホストクラブ会長、来賓の山形県知事、鶴岡市長各位の談話、地区大会役員名簿、表彰者名簿、その他多彩な資料を載せます。

また読んで楽しめる紙面造りのためにゴルフ大会の風景写真、他府県から来られる役員、会員諸氏のために「庄内の観光」欄を特集いたします。その「ガイド」と申しましょうか読ませる紙面造りのために前会長阿部襄先生から「庄内の伝統と風土」と申しましょうか、内容といたしましては庄内の自為、歴史、人物、産業、食べもの、など先生独特の筆致をもって紹介した原稿を書いて頂くことになっております。なるべくローカルカラーに富んだものに仕上げたいと考えております。

この記念特集号作製については、かなりの経費もかかります。本社としては勿論、奉仕的にやらせて頂きますが、ホストクラブの会員皆さまからは、皆さまの当クラブの担当、ご職業、ご住所等を附記した、歓迎名刺広告をお願い出来れば幸甚に存じます。さらに大きな企業主の方々や、観光地来会者の各宿舎、ホテル、旅館のご経営者の方々には別にPRの広告をお出し願いたく近く書面か係員を参上させますから何分ともよろしくご協力お願いいたします。

なおこの特集記念号作製につきましては何かとご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

○職業奉仕委員会

佐藤 忠君

本年度計画事項の説明

本年度活動計画をお読みになり、内容についてはお分りになっておると思いますので省略しますが6項目については行動に移

し、即活動したいと考えています。

要するにロータリーの綱領にもありますように、職業を通して社会に奉仕することであり、これは個々の問題であります。皆様がよくロータリアンとして自覚され、職業人として質の向上に充分尽されます様ご努力をお願いいたします。

尚、委員会としては「四つのテスト」を各職場に是非掲示して頂きたいと思えます。鶴岡西RCでは新入会員には額縁に入れて「四つのテスト」を贈呈しており大変よいことだと思います。当クラブに於きましても、予算（1万円）もあることですし新入会員には額縁に入れ、7月入会の方にもさかのぼって贈呈したいと思えます。

前からの会員の方は事務局に注文し、2枚でも3枚でも、つまり会員外の方でも結構と思えますので、ご希望の向にはお分けしてもよいと思えます。

次に事例研究のことでありますが、今年は是非取り組んで行きたいと考えています。

新聞紙上に載っておりますが「基礎原料が非常に不足を来した、秋には倒産も出るのではないか」という問題ですが我々ロータリー会員の方々にとってもいろいろ関連があると思えます。それで、これらの問題を提起して頂きまして事例研究に取り組んでみたいと思えます。

要するに先ほど申し上げました様に「個々の会員がロータリアンとして、又職業人として質の向上に充分ご努力お願いしたい」というのが職業奉仕委員会をお願いでございます。

○青少年委員会

五十嵐伊市郎君

本年度計画事項の説明

内容については計画書を見れば分りますが6項目に分れています。5項目だけは、これをやめては支障を来す恐れもありますので、今迄通りのことをやります。

もう一つ、やりたいのは恵まれない青少年を市民プールに招待しようという考えです。処が恵まれない青少年を2つに考えています。

その1は、生活保護を貰っている小供、学校準保護の子供をプールに招待して水泳

をやらせたい。

もう1つは身障児の水泳です。これは水の中で不自由さがなくなるんじゃないか自分達もやれば出来るんじゃないか、という気持ちを養うために計画したのです。

前者の方は市役所と色々お話し合い致しました。鶴岡市には約600人の該当者がおるそうです。それで鶴岡市から約1週間位のキャップを発行して貰い、それを各家庭に送りまして、これが生活保護とか準保護とか分からない様、一般の子供と同じ様に市民プールを開放して貰うことに話し合いが出来ましたのでロータリーとしては直接関係しなくともよい様になりました。

次に後者の身障児の件ですが、前にその人達をプールに招待しようと思いましたが来る人が非常に少いのです。自分の裸を他人に見せるのが嫌だとか、泳げないとか、色々の事情もある様でしたので、この度は計画を変更し、父兄と身障児を一堂に集め昼食をご馳走し乍ら「どういふ事を望んでおるか」、「どういふことをやってやろうか」ということを考え計画を練るつもりです。

どうぞその節は色々身障児の問題もあると思えますので何かアドバイスがありましたら教えて頂きたいと思えます。

○インターアクト委員会 三井 健君

本年度計画事項の説明

インターアクト委員会は前委員会が確固たる基礎を築いているので本年度委員会としては、その基礎を踏んまえてRI会長のターゲット「今こそ行動のとき」をモットーに更にロータリークラブがインターアクトを設立した趣旨と理由を今一度考え直して活動を行いたいと思う。

次にその活動計画としては

- (1) 先ず委員会、指導教官、クラブ会員が一体になるにはなにをなすべきかを考え三者の意志の密接な疎通を計る。
- (2) その為には先ず指導教官との意志疎通の方法として屢々会合を開き、指導教官の積極的活動と意欲を刺激する。
- (3) クラブ活動の計画と実行は出来る限り会員の自主的なものとし、その為には指

導教官（学校当局）の指導を期待すると共に、本委員会はそれを尊重して、その計画と活動に如何なる手伝が出来るかを考えて実行する。

- (4) 国際理解の場を出来るだけ提供する様に努め、交換学生又は国際的行事にも機会を見て交換出来る様に努める。
- (5) 地区大会に際しては学業に差支えない範囲に於て奉仕活動を期待する。

○花笠祭りのお礼

実計委員会副会長
鈴木善作君

去る8月10日、11日、山形花笠祭り庄内会場として夜7時より10時迄2日間に亘りまして花笠のパレードを行ないました。この前お話しした通り参加人員は3,200人以上、団体の数は47位ありました。非常に盛会でありました。

これも偏にロータリー会員の皆様から高額のご寄附或はアーチ、ボンボリ設立に対し色々ご援助下さいました賜と思えます。大へん有難うございました。

去年は電気工事の方が上から落ちて手、腰を痛めましたので、それでは駄目だと思い今年は羽黒山の山伏を山王様の前から先頭にしてやりまして、お蔭様で無事故でありました。羽黒山の宣伝ではありませんけれども仲々有難いものと思えました。

尚、後ほど市長よりお礼状を差上げると思えますが取敢えず私から厚くお礼を申し上げます。

○親睦活動委員会 中江亮君

安藤定助君は全国メッキ組合連合会東北ブロック会議にホスト役を務められ、盛会裡に終了しました。

次に鈴木善作君は山形花笠祭り庄内会場の実行委員会副会長として8月10日、11日の両日花笠祭りの大役を果たされました。

次は佐藤衛君、今回温海温泉橋屋旅館の改築工事を引き受けられ、本日は起工式の喜びの日であります。

最後に小野寺清君、本日のスピーチにある様に荘内日報を代表しての切なるお願いを叶えて欲しいとのことです。

○スマイルボックス

安藤定助君
鈴木善作君
佐藤衛君
小野寺清君
山本末治君 京都西RC
(尚当クラブ初めてのビジターのため)
夏目重彦君 奥三河RC
(同 上)

○ロータリー情報委員会 大川喜一君 張紹淵君 山本隆男君

1. 規則に関する問題
(20) もし会員が義務としての平均出席率を保持しえなかった場合は。
(a) 会員身分は自動的に終結する。
2. 手続に関する問題
(27) ロータリアンはその会員身分を保有するために、年度の各半期間に次の平均出席率を保持しなければならない。
(a) 60パーセント。

○お 願 い 会報委員会

毎例会日盛沢山のプログラムによりまして当委員会としてお話し申し上げる機会がありませんのでこの紙面をかりましてお願いを申し上げます。

1. 先にお願い申し上げておりました会員家族スナップ写真の件につきまして、まだほんの一部しか集っておりませんのであるべく早目をお願いします。

尚、会報 No. 5 に安藤定助君の第1号が掲載されておりますが、この添え書きは一応理想的なサンプルの一つとして誠に結構なものと思われれます。この形式にこだわることもありませんが、明るい、アイデアのある添え書きも必ずお願いしたいと思います。

2. 出張撮影の件ですが二、三のご希望もありましたが、あまり少いので中止させて頂きます。何とかご自分で写されます様お願い申し上げます。

尚、当委員会にとって「会員家族写真の掲載」はデパートに例えるならばいわゆる「目玉商品」とでも申しましょうか非常に重く考えております。会員の皆様意のあるところをお汲み取り下さいまして御協力のほどを重ねてお願い申し上げます。